オンラインセミナー

「建設未来フォーラム」 企画のご案内

２０２４年1月

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊 建設工業新聞

■は　じ　め　に

謹啓　時下ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

２０２０年から開催してきたオンライン・セミナー「建設未来フォーラム」。地域や時間的な制約が少ないオンラインの特性を生かし、建設産業の持続的発展を目標に継続的な情報発信の手段として、建設産業に携わる各社とともに最新の情報などを伝えるセミナーを展開しております。創刊９５周年の２０２３年度は記念事業としても開催、加えてリアルセミナーも実施いたしました。お陰様で読者、取引先から評価をいただき、実践的な情報発信事業として、これまで２５回余り開催いたしました。

貴社事業を的確に伝える場として本事業を活用いただきたくご案内いたします。

つきましては、本事業の趣旨にご理解とご協賛くださいますようお願い申し上げます。

Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

◆２０２０年
①１１月１０日　「残業４５時間を突破（実現）する壁～Withコロナ　新たな時代の働き方～」
◆２０２１年
②４月１５日　「時代の要請に応えるビジネスの創生」
③９月１０日　「新現場力～新たな仕事の取り組み。各地現場に即時に情報を届ける、最新BtoBアプリの活用」
④９月２２日　「BIMで活用できる外国人材の採用と可能性について」
⑤１１月１０日　「今からでも遅くない！改正電子帳簿保存法対策」
⑥１１月１８日　「ＤＸ時代～これからの建設現場と働き方」
◆２０２２年
⑦１月２７日　「BIMで儲ける仕組みづくりを徹底解説」
⑧４月１８日　「次世代のために検討すべき事業継承・Ｍ＆Ａを活用した成長戦略とは？」
⑨５月２４日　「建設産業の未来と建設DX」
⑩５月２７日　「『SDGsで世界をつなぐ』出版記念　ODAにおけるSDGsへの取り組み」
⑪６月９日　「建設業に待ち受ける2024年問題。押さえるべき労基署対策の傾向とポイント」
⑫９月６日　「基礎から学ぶ助成金・補助金活用術」
⑬１０月１３日　「データ活用でネクストステージへ～竹中工務店と清水建設の取り組み～」
⑭１０月２７日　「IT導入補助金活用セミナー インボイス導入まであと１年！ 建設産業DX推進～インフラDXからオフィスDXへ　PART 1」
⑮１１月８日　「現場ＤＸセミナー～日本を元気にする“現場力”を語る」
⑯１１月２９日　「IT導入補助金活用セミナー インボイス導入まであと１年！ 建設産業DX推進～インフラDXからオフィスDXへ　PART 2」
◆２０２３年
⑰４月２０日　「国のかたちを考える」
⑱５月１２日　「持続可能な建設業に向けた環境整備―ポイントと対応―」
⑲５月２３日　「観光の現状と今後の取り組み」
⑳６月２０日　「建設業界における2024年問題 ―現状と課題―」
㉑７月１１日　「進化する建設ＤＸ～生産性向上とAI　最新の音声認識と画像認識の活用事例」
㉒７月２５日　「一気通貫で生産性向上を目指す～建設業界における営業DXの実践例と成功事例～」
㉓９月４日　「大林組・長谷工が語る！建設業界における攻めと守りのDX」
㉔９月２７日　「建設産業界に求められる新卒採用戦略―Ｚ世代の就職活動と働き方―」
㉕１０月５日　「優秀な外国人の受入れ増のためには、中長期的なキャリアパス構築がポイント」
㉖１１月２９日　「バックオフィスと現場。両方のDXが建設産業の生産性問題を解決する」
㉗１２月６日　「2024年、建設ＤＸの次なるステージを占う ～建設業におけるデータ・映像活用の最前線」
○９月２０日・１０月２３日・１２月１２日　リアルセミナー「ＳＤＧｓシリーズ」

Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

■ セミナーの基本構成

実施日時・テーマ：お打ち合わせの上、決定いたします。
セミナー時間：６０分程度を想定としています。
参加(視聴)方法 ：Ｚｏｏｍを使用したオンラインセミナー
参　加　者：小紙社告、告知広告、ニュースサイト内告知などにて募集いたします。
協賛：貴社　　主催：日刊建設工業新聞社

告知・集客	・小紙社告ほか広告スペースなどを活用し、参加者募集を図ります。 ・小紙ニュースサイト内に特設サイトにて、参加者申し込み受付を行います。 【使用メディア】・社告　・広告　・ニュースサイト バナー広告　・メルマガ配信（約２３，０００件）
特設サイト	・小紙サイト（月間PV約50万）にセミナー告知バナーを設置、特設サイトへの誘因を図ります。 【構成】 ・趣旨および実施概要（テーマおよび講師紹介）・貴社指定サイトへのリンク ・参加申し込みフォーム※申し込みフォームの質問項目（取得情報）は、貴社とご相談の上設定します。

セミナー進行（例）　※実際の進行は、ご希望に合わせてカスタマイズいたします。

《受付》特設サイト内に参加申し込みフォームを設置
①参加申込者に、セミナー招待メールを送付
②セミナー配信・視聴
◆セミナー進行（６０～７０分）
　①開会（５分）＝オリエンテーション（プログラム、質問方法など参加方法の説明）
　②基調講演（１０分）＝小紙記者によるテーマに沿った現状レポート
　③メイン講演（２０～３０分）
　④貴社プレゼン（１０分）
　⑤質疑応答（１０分）
　⑥閉会（５分）＝参加者アンケートの協力依頼

※貴社主催事業のLive配信なども可能となっております。

Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

■A案：告知、集客とオンライン配信

①貴社セミナーなどのオンライン配信を承ります。
②記事掲載など告知と集客、参加者を募集いたします。

ご提案料金：500，000円（消費税別）

■B案：セミナーの企画と運営、オンライン配信

①基本構成に沿ったセミナーの企画と運営、オンライン配信を承ります。

ご提案料金：1，000，000円（消費税別）

■C案：セミナーの企画と運営、オンライン配信に加え、採録特集の掲載

①基本構成に沿ったセミナーの企画と運営、オンライン配信を承ります。
②セミナーの報告特集（モノクロ１ページ）を掲載いたします。

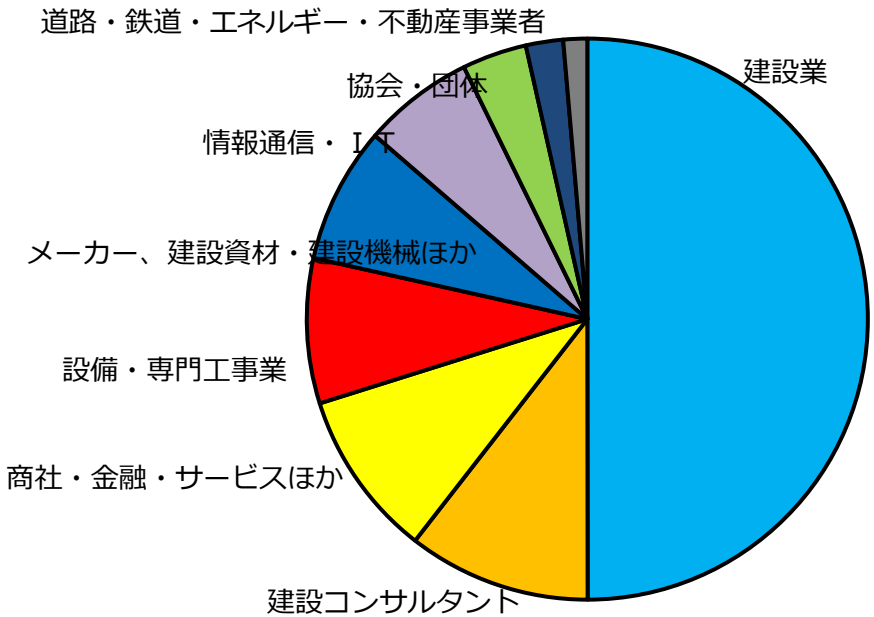
ご提案料金：3，000，000円（消費税別）

Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

2022年「建設未来フォーラム」参加者属性

１０回開催した２０２２年の全参加者のうち、所属・役職をお答えいただいた２，９８１名の業種と役職を集計したものとなります。

業種



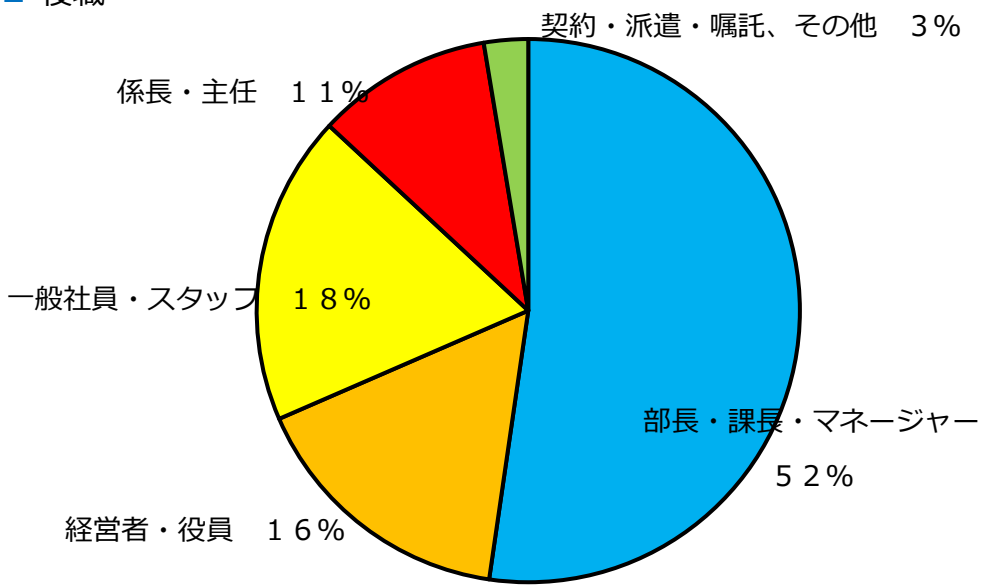
建設業	５０％
建設コンサルタント	１１％
商社・金融・サービスほか	１０％
メーカー、建設資材・建設機械ほか	８％
設備・専門工事業	８％
情報通信・ＩＴ	６％
協会・団体	４％
道路・鉄道・エネルギー・不動産事業者	２％
その他（行政、研究・教育関連）	１％

■建設業、建設コンサルタント、設備・専門工事業、メーカー、建設資材・建設機械が全体の約８割弱を占めており、建設産業の情報源となっているといえます。

■商社、情報通信・ＩＴなどの参加は、建設以外からの参入が増えている現状を示している顕著な現象と捉えています。

■経営者・管理職の参加が約７割、時間的な制約が少ないオンライン・セミナーの特性が生かされた結果です。

役職



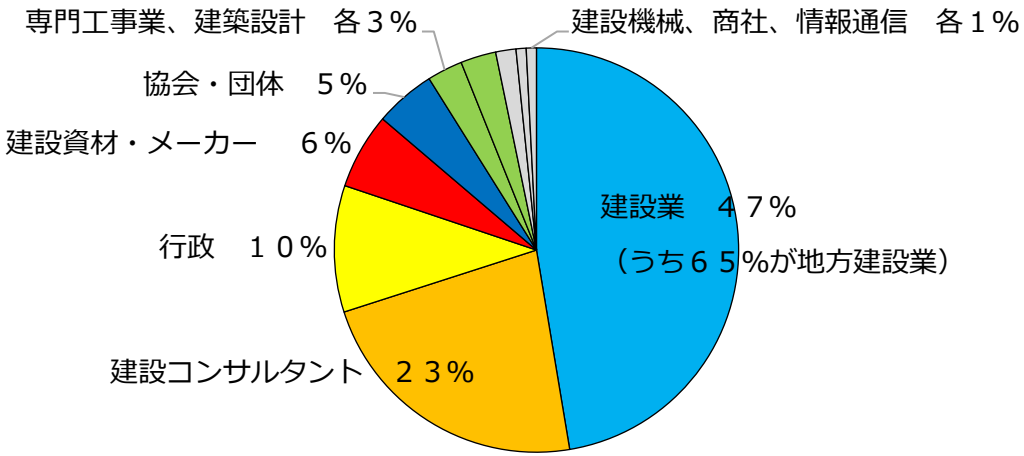
Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

■「建設未来フォーラム」に関するアンケート調査報告　①～メールマガジン受信者属性

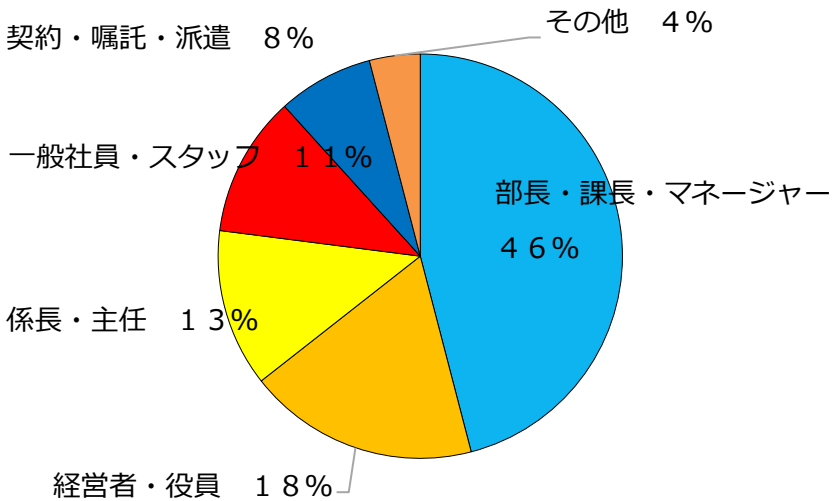
回答者の７割が建設業・建設コンサルタント、地方建設業が全体の約３割を占めており、メールマガジンとオンライン・セミナーが有益な情報源と認識されているといえます。意思決定権者の経営層と管理職が全体の３分の２を占めています。

■日刊建設工業新聞メールマガジン配信者を対象にした調査
【期間】2022年６月15日～24日　【エリア】全国
【機関・レターヘッド】日刊建設工業新聞社
【対象および方法】日刊建設工業新聞メールマガジン配信者を対象に、パソコンを利用したウェブ調査
【回収サンプル数】300人

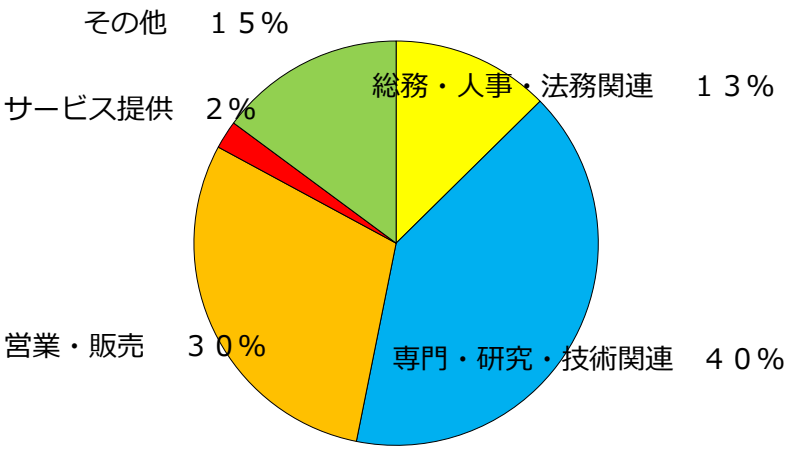
■ 業種



■ 役職



■ 職種

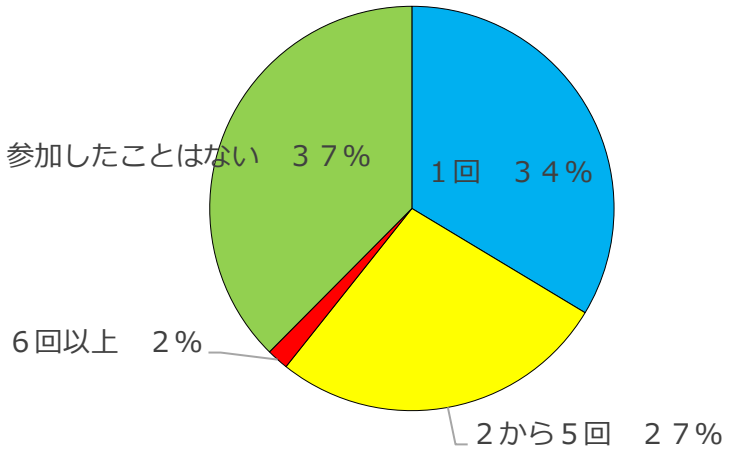


Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

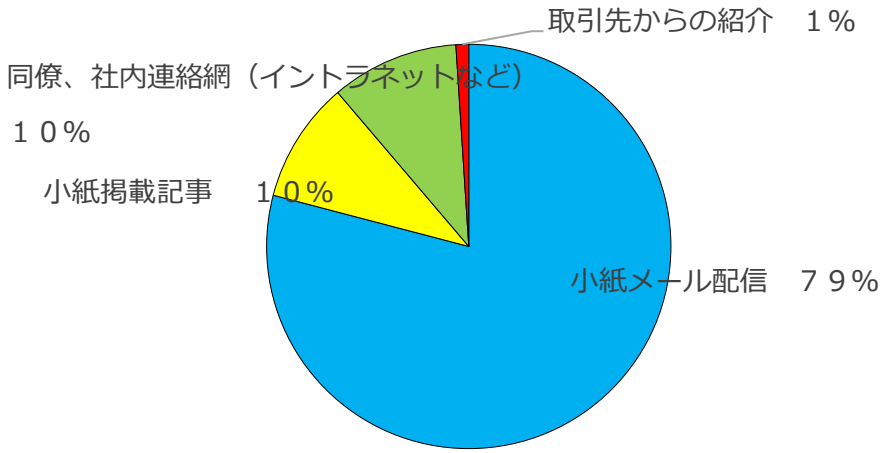
■「建設未来フォーラム」に関するアンケート調査報告　②～メールマガジン受信者の参加者動向

アンケート回答者の６割強が参加経験があり、うち半数が複数回参加しています。高い満足度が示す通り、セミナーの内容が業務に生かせる、業務に必要な情報を伝えているといえます。

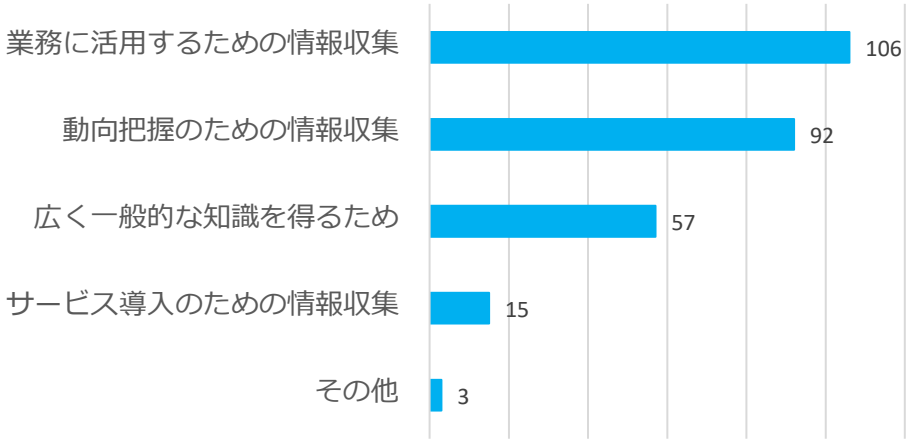
■　参加回数



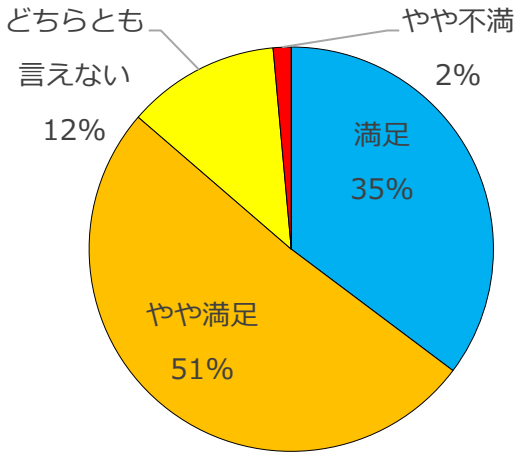
■ 認知経路



■ 参加目的



■ 満足度



Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

■ 感想、要望

・今後の動きがわかるので、こういったセミナーは非常に助かります。
・常に新しい情報発信の場の一つとして期待しております。今後ともよろしくお願いいたします。
・興味深く拝聴いたしました、移動の必要無しに有意義なセミナーを受講できる取組は素晴らしいと思います。今後も継続して頂けると有り難く思います。
・地方部にいる技術屋にとってこのような機会を得ることができることは非常にうれしいことであるとともに、技術習得するために参考になりました。
・新技術と言うことで、どれも非常に興味深い講演内容でした。開催時期、全体の時間、各講演の時間配分も丁度良く、次回は対面式で受講させていただきたいと思いました。
・専門の講師から最新の情報を得られ、非常に貴重な時間でした。機会があれば今後も参加したいと考えております。ありがとうございました。
・毎回参加しています。セミナーの内容が豊富且つ高度で十分満足している。
・建設業界での動向やニーズを捉えてこれからも情報発信下さり、建設機械メーカとして出来ることが無いか勉強させていただければと考えております。今後のセミナーにも期待しております。
・テーマの選定が現在の状況にあっています。
・働き方改革に関連し残業上限規制にどう対応していくか、今一つ分かりづらい現場でのDXについて簡単に理解できないか、事前に知っていれば是非セミナーを受けたかったです。

・時間は40～60分程度が間延びせずに良いと思いました。
・短時間なので聴きやすいのだが、勤務中なので運が悪いと聴けない。２週間ほどでいいのでアーカイブがあるともっと参加することができると思います。
・短時間開催の方がよい。セミナー終了後、10日間程度オンデマンドで見られると良い。
・一定期間経過すれば、バックナンバーを見られるようにしてほしい。
・対面形式のセミナーに比して質問がしづらい。
・どのように改善されたかや、改善するかなどの課題などは良いが、特定の商品のPRのような内容のセミナーもありがっかりする。協力される会社が固定化されているように思う。

・土木学会CPDに登録したいので、受講証明書の発行をお願いしたい。
・CPD単位取得のために、建設関連団体の認定を受けて頂けると、有難い。
・セミナー資料は毎回ほしいです。

・発注者の動向を踏まえた情報発信を望みます。
・今後も建設インフラの将来を考える上で有意義な内容となることを望む。
・建設資材高騰による社会情勢の中、中小企業の建設会社が生き残っていくためにはどうすればよいかのようなテーマや今後の建設業界の流れを知りたい。
・ＩＣＴ関係だけでなく幅広い技術や情報の提供をお願いします。
・BIM/CIMやDXなどが追い求めるもの、行きつく先の姿を明確に示せる人が出ているのだろうか？　東大の有名な先生や鹿島の技師長が出演して、思いっきり話してもらわない限り見えないのではないだろうか。ベンダーやデジタル商社では無理だろうと考える。

Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.

■「建設未来フォーラム」に関するアンケート調査報告　③～フリーアンサー　2

■ 希望するテーマなど

建設業の動向・新技術

・建設業の今後の動向
・新技術に関する講義を聞いてみたい
・政府が進める官民共同事業・コンセッション事業の展望。
・リニア新幹線、外環道、高速道路大規模更新などプロジェクトに関するセミナー
・維持管理、防災、シールドトンネルに関すること
・具体の事例をより多く入れて欲しい。

建設DX、BIM／CIM

・各社のDXへの取り組み、事例の紹介
・現状の課題と将来像について正しく認識できるセミナーを期待します。
・BIM／CIMやVR・ARの活用事例、無人化施工、AI活用の動向などを聴いてみたいです。
・BIMのISOについての業界の動きが知りたいです。
・DXを展開していき、ビジネスプロセスやビジネスモデルを変革させていくシナリオ例
・ICT施工、ICT設計、３D関連の動向
・BIM/CIM・DX・ICT施工など　これからの建設業界に必須となってくる事業について解りやすい講習会を希望。現状はデータ操作など特定の（資格等を持ったオペレータなど）作業領域となっており全体的な普及がイマイチ感じ取れないため
・今後の建築DXの動き。建設分野以外の異業種とのコラボが今後進展すると思うので、目から鱗が落ちるような意外な話を聞いてみたい。
・昨今の状況からどうしてもITとの関連でのテーマが多くなるが、その技術を活かすエリア、基盤、人材等の視点から未来への展開に関心
・ＩＴベンダーの講演

SDGs、カーボンニュートラル・環境問題

・低炭素社会カーボンニュートラルの先進的取り組みについて
・国として建設業の未来の方針を解説する講演などを期待する。
・法改正の情報や建設業でのＳＤＧsの取組み事例など知りたいです。

働き方改革・人材関係

・建設業週休2日制の導入移行
・働き方改革についての講演であれば、「建設業」に特化したものにして欲しい。タイトルだけではなく、内容も。
・残業問題は中小企業にとっては喫緊の課題です。行政や大手企業からの依頼により残業の負担を強いられていることもあるかと思います。その辺を行政、大手企業がどう取り組んでいるのか、どう考えているのか、そういった目線でのセミナーの機会があれば宜しくお願い致します。
・（建設業に待ち受ける2024年問題に参加し）一般業種と比べ労働環境の遅れを痛感している建設業の問題に新たな時代への取り組みが必要と考えた。
・建設業において、安全日誌のサイン（手書き）をデジタルで可能とさせることが認められるのか、労働基準監督署の意見が知りたい。設計段階でのＢＩＭ作成後、確認申請までの動きがどこまでいっているのか知りたいです。
・コンプライアンス、働き方改革、法改正の最新情報、工事安全書類の定義
・人材確保、技術伝承をお願いします。
・新卒、中途を問わず選ばれる企業になるには
・資材高騰対策・職人労働者不足対策など

その他

・建設機械と防衛産業とのかかわり　・異業種とのコラボレーション　・ダボス会議とグレートリセット　・中小建設業・専門工事業の海外展開事例
・新規事業取組みに対する考え方・方向性及び事例　・ODA

Copyright © 2023 THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN. All rights reserved.